

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		商工会補助事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	年度～
	施策	商工業の活性化	種別	任意的事務
	基本事業	地域商業の充実	市民協働	
予算科目コード	01-070102-03 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 経営改善普及事業及び地域総合振興事業の推進を実施する商工会を補助金により支援する。
守谷市商工会は、昭和38年度に設立され、市内における商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資し、もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的に事業運営が行われている。 市内商工業者の経営改善普及事業の推進、地域総合振興事業、各種共済事業の普及推進のため支援を行う。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内商工業者の育成と振興を図ることを目的として補助金を交付し、中小企業の発展と地域経済の活性化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の店舗が増えて利便性が高まり、市内で買物する市民が増加する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
商工業者の経営基盤の強化、充実に寄与した事業展開が図られており、地域の商工業の経営等の改善発展を図る地域総合経済団体への補助であり課題はない。	
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
市内商工業者の育成と商業の振興を図ることを目的として補助金を交付した。	市内商工業者の育成と商業の振興を図ることを目的として補助金を交付した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
会員数（人）	779.00	854.00	869.00	860.00	887.00	893.00	865.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
■向上 □横ばい □低下	会員及び商工業者の地域の経営基盤の強化・充実に寄与した事業展開及び新型コロナウイルス対策融資等の相談に訪れた事業者が新たに入会したことにより、会員数が増加した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
□拡大 □縮小 ■維持 □改善・効率化 □統合 □廃止・終了	商工会は、地域商工業の経営等の改善発展を図る地域総合経済団体であり、その活動に対する補助は公益性の高いものであるため継続していく。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
正職員人工数（時間数）		7.00	7.00	73.00	0.00	0.00
正職員人件費		29	28	282	0	0
トータルコスト		7,529	7,528	7,782	7,500	7,500

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		アワーズもりや管理事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	商工業の活性化		種別
	基本事業	地域商業の充実		市民協働
予算科目コード		01-080401-07 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷駅東口商業街区に魅力ある街並み形成のため、平成21年7月にアワーズもりやを開業させ、「守谷駅前賑わい創出事業」として平成28年度まで行ってきたが、更なる適切な施設管理を行うため、平成29年度より「アワーズもりや管理事業」に移行した。	守谷駅東口商業街区にある建物について、所有者の三菱ＨＣキャピタル（株）と賃貸借契約（平成21年7月から20年間）を結び、商業施設管理者（大和情報サービス（株）：17テナント）、医療施設賃貸者（ＪＡ三井リース建物（株）：6テナント）及び駐車場賃貸者（三井不動産リアルティ（株）：自動車219台、自転車92台（内バイク3台））に転貸等を行い、商業施設、医療施設及び立体駐車場・駐輪場の適切な管理を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
空区画への新たなテナントの募集や入居済みテナントへのフォロー、建物の修繕管理を行い、アワーズもりやの適切な管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の店舗が増えて利便性が高まり、市内で買物や食事をする市民の増加を目指す。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
・空き区画が満床となり、その持続が必要である。	1～2カ月に1度：各テナントへ問題点等の調査を実施 通年：リーシング
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
・テナントとの意見交換を行い、事前に障害となるものの解決を実施する。 ・引続きリーシングを実施する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の取組（評価、課題への対応）
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、駐車場の利用者が激減したため、賃料の減額措置を行った。また、飲食店についても売上が減少したため、一時的に敷金を賃料に充当させる措置を行った（R2年度内に敷金は返還済）。 施設管理については、雨漏り（3階フロア）の応急処置を行った。 今後は、駐車場賃料について、コロナ禍や利用状況を考慮しつつ増額に向けた協議を行うことが必要である。施設管理についても、課題となっている雨漏り改善に努め、適切な対応を行う。	新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、駐車場利用率が回復しない状況が続いたため、賃料減額措置を継続したが、令和3年10月以降の利用率が改善したことから、関係者と増額協議を行い、令和4年2月より賃料増額の覚書を締結した。 施設管理については、以前より課題となっていた3階フロアの雨漏り改善のため、屋上防水改修工事を実施した。また、不具合が発生した防犯カメラについても、リニューアル工事を実施し防犯対策の向上を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
商業施設入居テナント数（件）	12.00	16.00	16.00	17.00	17.00	17.00	17.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各テナント及び駐車場の利用者がコロナ前と比べて減少している。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、利用者の増加に向けて関係機関と連携して対応するとともに、関係者と協議・交渉しながら収支の改善に努める。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	124,560	124,139	125,750	125,923	125,923
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	124,560	117,282	117,070	117,813	117,813
	一般財源	0	6,857	8,680	8,110	8,110
正職員人工数（時間数）		174.00	188.00	234.00	0.00	0.00
正職員人件費		714	761	905	0	0
トータルコスト		125,274	124,900	126,655	125,923	125,923